

どろう攻める？

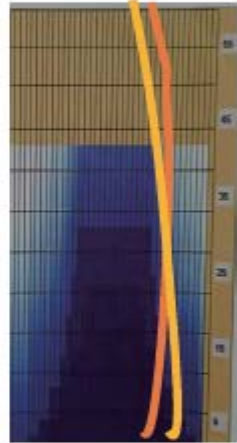
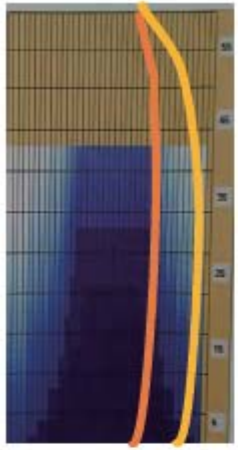
先月オイルコンディションのお話をしました
が攻め方の考え方について少しお話をしたい
と思います。

基本的にはオイルはガターに近いほうは少な
く真ん中の方が多く入っています。そのためオ
イルの多いところを投げてしまうとオイルで
ボールが滑ってしまい曲がりが小さくなっ
てしまいます。その一方でオイルが少ないところ
を投げるとレーンとの摩擦が多くなりボール
が曲がります。

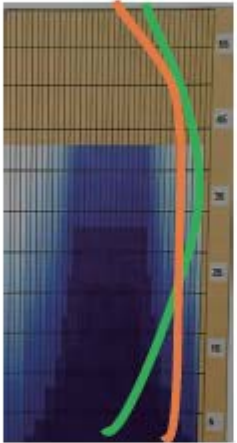
ですので、ご自身の球質で曲がりが少ない人は
オイルが比較的少ないところ、曲がりが大き
い人はオイルの多いところを投げるというの
が基本的な考え方になります。

でもオイルが多いかどうかは正直投げてみな
いとわかりません。毎日同じコンディションで
あっても、その日の温度や湿度などの環境でオ
イルの感じ方は変わってきます。

投げてみて、「曲がらないな」と思ったら比較
的オイルの少ないガター側から投げてみる。
「曲がりすぎるな」と思うときはもう少し真ん
中寄りを投げてみましょう。



また、どこを投げてもなかなか曲がらない場合
などは、立つ位置を少し右にして、少し斜めに
同じスパットを狙って攻略する方法などもあ
ります。



一方で曲がりすぎる場合は、立ち位置を左側に
して同じスパットを通して膨らまして投げるよ
うな攻め方もあります。

今回はごくごく基本的な考え方を書きました
が、当日のコンディションや球質により攻め方
は多々ありますので追求してみてください。
ただ、スポーツコンディションと言われる難し
いコンディションではガターに近いほうにも
オイルが入っているので、この考え方がそのま
ま使えませんが、いろいろトライしましょう。

〈ドリラーのひとりごと 第27話〉
リスタイ

今回はリスタイについてご紹介したいと思
います。

リスタイをする目的は様々あります。まずひと
つは、ボールは重たいのでどうしても手首が外
側に折れやすくなりがちです。リスタイを装着
することで、そうならないように補助をしてあ
げるという目的があります。

その他の用途として、ボールの回転を与えるた
めの補助的役割があります。特に横回転と言わ
れるターンをさせる投げ方が不得意な方にも
有効です。



ただし、リスタイとい
っても様々な種類が
あります。着用するも
のにより、本来ご自身
が求めている役割を
果たしきれない場合
があります。購入の際
にはどのような目的
で使用するかを明
確にして購入しまし
ょう。効果の薄いもの
や、逆効果になっては
意味がありませんか
らね。ご不明な点等はなんでも相談して、ご自
身にあったものをご購入しましょう。

<筆者>

佐取賢一(44期)
JPB/PBAプロカ
JPBA B級インストラ
JBC公認ドリラー